

		公表		保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果					
公表日		2025年		12月		20日			
事業所名		こぼんはうすくら		西白井教室		保護者等数(児童数)		20名	回収数 15件(割合〇%)
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	6		1		活動内容により十分なスペースを確保できない場合もございますので近隣の公園で実施する工夫を行っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	3		2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	10	4		1		毎日の清掃業務に加え、定期的にエアコン等の掃除を行っています。また、家具の配置も都度話し合いを行い安全確保が取れるよう取り組んでいます。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14			1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			2		ホームページにて支援プログラムを公表しております。再度保護者様に向けて周知を行っています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14			1		面談を行い、日々の記録を確認しながらカンファレンスを実施したうえで個別支援計画を作成しております。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1				曜日固定で利用のお子様も多くいらっしゃるため様々な活動に参加することが出来るよう毎月話し合いを行っています。	
保護者 への 説明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	1	4	申し訳ありません。存じあげていません。	現在幼稚園・保育園等の交流は実施できておりませんが、児童センターを活用しており近隣のお子様たちとの交流が増えてきています。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14		1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1				保護者会を実施しておりその中で毎月議題を決め、取り組み方や関わり方についてお話しさせていただく機会を設けています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	3				連絡帳にてご家庭での様子や体調をお知らせいただいております。また、随時メールやお電話でお話しさせていただくこともございます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	1			計画書更新の半年ごとの面談に加えご希望がありましたら随時面談を実施しております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていると思いますか。	11	2	1	1		今年度より春から保護者会を実施しております。また、年4回程保護者様参加型イベントを実施しており多くの方にご参加いただいております。ご兄弟の参加も多いため、関係性が深まる様子も見られ嬉しく思います。	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1				
保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	1	2		amebaブログにて活動の様子をご紹介させていただいております。また、こばんだよりも毎月発行しており各フロアの様子をお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	1	2	訓練に子どもが参加していないと思いますのでわかりません。	毎月安全指導に加え感染症の研修・訓練等も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		6	訓練のある日に通所していないのでわかりません。	非常災害を想定した訓練を避難訓練の中に組み込み、実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	1	2		病院受診となる怪我や、部位により速やかにご連絡が必要な場合、お電話させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14			1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			たまに30分早く帰宅することがあるのはちょっとなと思うことがあります。	各ご家庭により送迎時間が異なるため、送迎箇所や時間帯によりご調整いただく場合がございます。

公表日

2025 年 12 月 20 日

事業所名

こぼんはうすさくら 西白井教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		カリキュラム内容により、公園を活用しプログラムを実行するなど工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	建物の構造上難しい部分もありますが、改善できる部分については全体で話し合いを行っています。	建物の構造上階段を使用し2階へ上がるため、お子様によっては受け入れが難しい場合があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	毎日の掃除に加え定期的に細かい部分の清掃を行っています。感染症が蔓延する時期などは特に消毒を徹底しています。	物を管理するスペースが少なくため確保していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		計画、実行まではいくが評価、改善へとつながっていかない部分もあるため、振り返りをしっかり行っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケートを基に皆さんからいただいた意見を周知し、改善しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	ミーティングや現場職員の会を開き、意見交換する機会が増えました。	把握まではいくがそこから改善されていない部分もあるため、期日を決める等していきながら業務改善をしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	市で開催される研修会への参加や、教室内での支援についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	ホームページにて支援プログラムを公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		現場職員も交え、カンファレンスを開催し、お子様の支援状況の振り返り、目標設定を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		日々意識しています。	他の目的が重要な場合もあるため、都度カンファレンスを開催し、見直しをしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		全体で意見を出し合い、反映させています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		他事業所で取り組んでいる内容なども参考にさせていただきながら、カリキュラムが固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	主に、集団での活動の実施がメインとなりますが、個別活動を行う時間を設けていき、各々の目標に沿った内容を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	朝、当日リーダーを中心に一日の流れや留意事項について話し合いをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	終礼を行い、支援の様子を振り返ることができるようにしています。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	利用のお子様、それぞれの支援内容や様子について記録をつけています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		担当者会議には児発管が中心となり参加していますが、現場職員も参加し、意見交換ができるよう対応していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		市で取り組んでいるツールを活用し、連携が取りやすくなりました。引き続き情報共有を密に行えるよう取り組みます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
関係機関や保護者との連携	31	(31は、事業所のみ回答)	7	1	見学会に行かせていただくことや、困りごとがあるときには、ご相談させていただく事があります。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	児童センターや公園等で地域のお子様と接することが多いです。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や連絡帳にて連携を取っています。また必要に応じてお電話にてお話をさせていただくこともあります。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	保護者会を定期開催し、情報共有の場を設けています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		お子さまの様子や保護者様の意向をお聞きしています。また、面談時のみならず日頃から相談しやすいような関係づくりを心がけております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者会やイベントを実施し、日頃のお子様の様子をお伝えさせていただいています。計画書更新時以外でも面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		年に数回、保護者様、ご兄弟参加イベントを実施しています。ご兄弟同士の関係性も深まっておりとても温かい気持ちになります。	
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		連絡帳には、日々の様子を記載していただいておりますが、気になる事や、相談内容が記載されている際にはご連絡させていただき面談の機会を設けております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		amebaブログ、こぼんだよりを毎月発行し、日々の活動の様子などを共有しています。	職員研修等の内容も、皆様に確認していただけるようブログやこぼんだよりにてお知らせいたします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		年に数回実施しているイベントに地域の皆様も参加していただけるよう改善していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルの確認、周知、訓練を実施、周知しております。	ごばんだよりにて周知を行っておりますが、確認いただけていない場合もございますので周知方法の見直しを行います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		事前にお子さまの健康状態等について聞き取りを実施しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		毎月、安全点検や、安全指導を実施し、議事録作成、振り返りができるよう取り組んでいます。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	教室で取り組んでいる安全指導の中で、ご家庭でもご協力いただきたいこともございますので周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年2回虐待研修・身体拘束防止研修を実施しております。また新規職員に向けて随時研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		必要に応じてご説明させていただき、同意をいただいたうえで、個別支援計画書に記載をしています。	